

刊夕日九月九



發行所 常警日新新聞社
電話 八三〇
印刷所 常警日新印刷株式会社

心の衛生

心配の上ぬり

市原三三男

煩悶や心配も丁度それと同じ関係で、先づ小さい苦痛がある。それを氣にして苦痛を苦に病み益々苦痛を大きくして行くのである。だからどんな煩悶でも心配でも、その根本に立戻つてよく考へ抜いて見るとその動機といふものはほんの背中が痒ゆかつたり歯が痛みかけた最初の程度のものであつて、それから先きは自分でそれを増長させてゐるものであることが分る筈である。

煩悶や心配は前にも述べたやうに現在の事柄よりは寧ろ過去と將來に亘つてゐるものが多い。所で過ぎ去つた失敗を幾ら繰返して後悔したとしても、それは追付く話でない。過去の失敗はいつでも將來の爲めの最もよい教訓である。「今度こそは失敗せぬぞ」といふ風に考へれば、過去の失敗は寧ろ喜ぶべき一つの経験である。次に將來に對する心配といふものは決して自分の思つた通りに出て来るものではない。「案じるよりは産むが易い」といふ言ひ草があるやうに、過

ぎ去つた後から考へれば、随分無用な心配のために色々心と痛めたことになるのである。

身體の病氣の中でも肺病とか肺炎加答兒とかその外慢性の病氣になると、病氣そのもの、價は僅か二か三である場合に、心配が先きに立つて、それを九にも十にも考へ過して煩悶を重ねて自ら壽命を縮めてゐる人が、世の中には澤山ある。殊に神經衰弱といふ病氣の如きは、本物の病氣は實は等であるに拘らず、自ら求めて苦悶の種を作り、その苦悶の種にして益々苦悶を重ねて九にも十にも作り上げてゐるといふ誠に馬鹿／＼しい目に會つてゐる。のである病氣は醫者に任せて養生すればよい。譯も分らぬ素人があつてもない。かうでもないといふ心配したとて、それが何の役に立つてあらうか。役に立たぬのみならず、心配の結果として心臓や呼吸に故障が起り食慾も減退して病氣を悪い方へ悪へと引張つて行くばかりである。(終り)

常警文藝

追憶

三村哲朗

涼しき、夕風に青蚊帳は、ゆらぎて

印刷物の御用命は總て
常警日新印刷株式會社
電話三六〇番

空を見る僕の眼にはいつか戀人の瞳がうるんでゐる遠く空にひきつめた銀の砂の輝きに僕はその夜の感情の交錯をささぐらす戸、もる月は二人を照す厚き軟き、口唇に初めてのキス初ものちぎりの涼しき一夜彼女の真心こめて縫ひし、此の時突もやがて用なきものとなれり木の葉に私語涼しき風甘き、昔のさくやきと聞か

かたく秘めし、此の秘密を我れは故郷に持ち歸る美しき、去りにし一夜を我れと彼女と忘れざるべし

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

大和田醫院

東北ヒヨケの元祖

近頃弊店名をタクミに利用して受注する者有り尙紺屋町ヒヨケ屋正木森之助氏の如きは弊店と關係あるが如き事を云振らす由に候も同氏とは絶對關係無之候又武藤定三氏は過般解雇したるに付右御了承の上此後御註文の際は右弊店マークに御注意被下御願ひ申上度此段謹告候也

平町六丁目大通り(元は白銀町)

敷島テント商店

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

福島縣平町五ノ廿八

志賀齒科醫院

福島縣平町白銀町九

産婆關口悦子

特卸治 福島縣平町五ノ廿八
約代理 志賀齒科醫院
販理療 福島縣平町白銀町九
賣部部 産婆關口悦子
定價表 金拾參圓 藥及特効五週間分付
金拾圓 藥及特効五週間分付
金拾圓 藥及特効五週間分付

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ

煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで

香りよい家庭徳用別箱

ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢



配 達 速

花柳科専門

木村外科醫院

平町五丁目橋際 電話三〇九番

文具破格特賣

半額、三割引、二割引

白運動靴 五十錢 九半以下 六十五錢 九七以上

平町前 マルカ運動具部 電話三十二番

吉田眼科病院

平町星町、電話六八番

井上・田子・赤阪三氏 先づ政戦の烽火を擧ぐ

けふ政友派の豫選會

意氣衝天の勢揃ひ

石城政友部の豫選會は本日午後一時より聚樂館に於て開催、會長木村清治氏挨拶を述べて候補者決定の方法を満場に語り各町村より舉げたる二名乃至四名の詮衡委員を擧げる事となり別室に於て詮衡の結果

の三氏と決定委員長飯塚築一郎氏より満場に報告拍手喝采を以つて異議なく可決の縣下選舉界情勢の報告、其他の激勵演説あり意氣軒昂を示した尙ほ三氏に交渉の結果快諾を受けたる爲め直ちに正式届出を爲し買運動を開始すると

けふの後援會に 田子氏擁立決議

既報佐藤庄太郎氏後援會は本日午前十時から有聲座に於て總會を開き四百廿名の會衆參集會長田子健吉氏の

開會の辭に次ぎ佐藤庄太郎氏の登壇
今回の縣議戦に對しては是非本會より一名の候補と述べたるに對し會衆の内より佐藤氏に候補者指名を委ねたき旨の動議あり多數の賛成ありたる爲め佐藤氏は「田子健吉君を以つて適任とする一言を述べ満場破れんばかりの喝采を以つて是れに同意を表し閉會後一同袂を連ねて聚樂館の

山の魂のあこがれ

赤井岳薬師祭り

若者は踊り狂ふ

聖なるものへの魂のあこがれは美しき少女の純情に似たもの——神秘はいつの世にも我々の心裡に或る尊嚴を與へる、それが學理的考證によつて破潰された今日でも尙龍燈は不思議なものの一つとして語られてゐる

赤井岳薬師が靈山として諸方に知られた所以もそこにある、明晩は世の善男善女が參詣する薬師祭り——郷土のもつとも賑やかなお

龍燈の名聲はお菓子にも表現されて龍燈あられとなつてゐる石城名物の一つに違ひない
當日は赤井驛前にも大櫓があげられて一景氣添える仕組であるが山へ登らない平の散歩人はせめて赤井岳情緒にひたり得るものであ

一晩山で踊り明かす人々
鶏魚寝の夢にまどろむ人々
あすの夜の赤井岳は無禮講の骨頂である、行けよ若者！

今日話の題

岩手縣稗賀郡新堀村の村社八幡宮の鳥居は東西に二基並列して建られてゐるが、これは三十五年も前、常々反感をいだいてゐた種村、明戸の兩部落民が感情そのまゝを神前に供したもので今なほ「おら方の鳥居」といつて互に他の鳥居はくゞらぬこととし、事毎に角突き合ひが絶えず無邪氣な小學生までがこの醜い争ひの渦に捲込まれてゐる、當局も村平和のために頭痛鉢巻とあるが一層お困りなのが氏神さま、毎朝毎晩殊勝らしく別々の鳥居をくゞつて來ては是非オラ方の部落に味方して下さいと頼づかれるのにハテサテどちらに投票したものかと迷つてござる——そうな

立會演説要求

内郷村の大内氏

石城郡内郷村大内民恵氏は同郡内の立候補者に對し立會演説を求め候補者一名に付き一人の紹介者を限り登壇を求め政見發表演説は三十分以上とし辯士帯同を謝絶する旨を條件に入れて居る

野崎派の言論戦

十二日から開始
石城民政黨の別派野崎候補の演説會は十二日正午から

稲作減收の見込

出穂期の意外な風害で

石城郡農會では本月初め同地方を襲つた強風による稲作被害状況を調査中だが程度出穂期に相當したので風害意外に甚大で全部平均では七八分減少を増した是が

飛行機の模型競技

至る處大人氣

大銀杯が寄贈さる

平驛前いづみや玩具店主催の飛行機模型競技會は既記の如く来る廿日平第一小學校庭に開催される筈で同店は是れが準備に忙殺されて居るが平地方の征空熱刺戟に多大な力があつた結果非常に多大人氣を博した結果既に一込者續々至るの盛況に

木炭検査

品質向上して
濱三郡木炭同業組合で八月

晝夜二回神谷、草野、四倉大浦の各町村に開催郡下各所に言論戦を開始する筈である

山間部は桑が不足

石城地方は大半三眠前後にあり一般に成績は良好であるがたゞ山間部では桑に不足を告げて居り一貫目三四十錢位で賣買されてゐる

石城繭取引状況

△四倉繭市場(九日)(白繭) 一五四貫(最高)三圓四十三錢(最低)二圓八十八錢(馴)三圓十九錢

平町人事

△一丁目八 當時東京府荏原郡荏原町中延 山本達雄(二一)
山形縣山形市銀町四〇 阿部なか(二五)
△東京府北豊島郡東町宮下 林勝藏(二八) 銀治町八 小野照(二三)
△ヤマ郡加納村字米岡 大野寅勝(三五) 飯越小路九 永島テカ(三四)

死亡

△南町四九 當時岐阜縣大垣市南町六一 柳よし(三三)
△南町七六 石川鹿次(七四)

内閣異動

本日發表

鐵道大臣 江木 翼
依願免本官 拓務大臣 原脩 二郎
任鐵道大臣 總理大臣 若槻禮次郎
兼任拓務大臣

女の奪ひ合へから 青年等アヒロ口で亂闘

昨夜不動尊の盆踊歸りに 二名が暗闇中に待伏して 一名は慘死す

石城郡植田町添野松田松治(三)外二名は昨夜十時頃隣村渡邊村松小屋不動尊祭禮盆踊りの歸途豫てから怨恨ある泉村吉田新(三)渡邊村永山平治(三)の兩名を

邊渡村 松ヶ谷谷地内の闇中に待ち伏せを爲し通り掛つた際矢庭に躍り出しと首を振り廻して襲撃し兩名共に虫の息となつて打ち倒れたのを見済し逃走した

急報に接した植田署にては直ちに警官急行松田外四名を

逮捕し 嚴重取調中であるが本日は市川検事及び藤沼警師が出張臨檢した原因は同地方の弊風たる女の奪ひ合ひからとの事にて永山は腹部を匕首で突かれた致命傷に依つて今朝十時死亡し吉田も瀕死の重傷を負つて生命覺えないといふ

身から出たサビ

泥酔漢振おとさる

運轉手の言を聴かず
貨物自動車に飛乗り

石城郡江名町大字下神田字綱取菓子小賣業比佐市藏(三)は九日午後九時小名濱から商用の歸途三升餘の酒で強が泥酔し小名濱町字濱場地内の

縣道に 差懸つた際通合した小名濱町字橋本小野徳次郎方運轉手笠間勝利(三)が貨物自動車を江名へ向け進行するのに出逢ひ江名迄乗せて呉れと交渉したが運轉手は貨物自動車だか

鮫川橋付近で十二日魚釣會
例年よりも

臨時列車増發

赤井嶽藥師祭

明十一、十二の兩日は赤井岳藥師祭に當るので水戸運輸事務所では平、赤井兩驛間に臨時列車を運轉することになつたが人出を見越して例年より増發する由である臨時列車發着時間左の如し

十一日
(平發赤井行)赤井發平行
午前 八、五 午前 八、三

落盤を避難中

足を踏外し轉落即死

入山第五斜坑内で

石城郡湯本町字白渡大沼郡長井野村字仲町生支柱工馬場長藏(三)は八日午前十一時頃入山炭坑第五斜坑内で坑木の入替作業中土砂が多量落下したので直に落盤と氣付き十間餘避難したがそれと同時に前記の箇所に大落盤があり長藏は眞暗な坑道の高所に避難したが足を踏外し二十尺の高所から墜

幼児溺死

母の實家で

石城郡好間村大字川中子宇中島喜重三女、大谷千代子(三)は八日下小川村關場森喜保方へ兩親に連れられ祭典の爲宿り翌朝九日午前九時千代子は森方の次男正夫(三)と附近の小川江筋用水路の流れで遊戯中誤つて急流に墜落間もなく姿を没したといふ正夫の知らせに大騒となり大谷森の兩親は近所の人手を借り千代子の行衛を捜索中同村の根本シゲノ(三)が同村大字關場字前田小川江筋で發見直に其筋へ届出した

同 一〇、六	同 一〇、五
午後 一、三	午後 一、三〇
同 一、五	同 二、四〇
同 三、〇	同 四、三〇
同 六、七	同 七、三〇
十二日	
午前 四、五	午前 五、〇
同 五、三〇	同 六、〇〇

明日のラジオ

十一日

今晚は北東の風曇り明日は東北の風曇り小雨模様

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間お話川中島の戦い奈良島知堂
後六、三〇 趣味の科學知識「近代生活が産んだ奇病」醫學博士木村直樹
後七、三〇 「古曲の夕」(講演)高野辰之(江戸踊唄)馬場先踊志賀山勢以(一)中節(都一梅(宮園節)宮園千廣(繁太夫節)富崎

明日の部

前九、一〇 料理献立「鳥賊の胡麻餅」小野やす子前一〇、三〇 夏期講習「家庭用マッサー」小川源助

老人が列車から 振り落されて慘死

平町から石岡へ行く途中
通り過ぎたと早合點

平町南町五〇無職石川鹿次(七)は昨九日午前零時五十三分平發上り列車にて石岡町の親戚に遊びに行く途中水戸驛を通過したのを石岡驛を通り過ぎたものと思ひ違ひ荷物を持つて昇降口へ出かけた爲め線路上にふり落されて慘死した

木炭の値段協定

石城木炭は隣縣茨城を初め東京、千葉、埼玉方面に移出され石城山間部の大なる財源となつてゐるが目下需要期を控へ生産者と問屋筋との間に値段の協定中であり十月月上旬から出盛期となるも昨今の相場は雜物並五

勿驚破天荒廉賣

記念新坑着炭
磐城炭界... 優良塊炭
正味拾貫匁入 一俵金貳拾五錢
一俵より 配達します

水野石炭商店

東京コークス・販賣
平郵便局通り
電話二九九番

カクテル
17キルテテ352
レストラン

小説 七五郎

【載轉禁】

渡邊默禪作
布施平八郎畫

俠妓歌治 (18)
ぬつと首を長くして猫撫聲
になつた。

『君に嫌はれてゐることを
承知の上で圖々しいこんな
事をいふのも押が太いが、
どうだ、何んとかこゝは一
ツ妥協ができないものなら
うか。私は實のところ獨立
で或る事業を經營してゐる
が、此頃莫迦に發展して來
てゐるから、店の方と手が
切れても充つ當分は困らな
いつもりだ。それで君が一
ツ大奮發で握手をしてさへ
呉れれば分看板で自前にな
るなり料理でも待合でもそ
こはお前の氣に向いた商賣
を始めななり、君の自由意
志にお任せ奉つて一切さか
らひ申さないが、資本の五
萬や十萬ならいつでも御用
を承はるが、どんなものだ
らう、ね、おい歌治。』

乗かゝるやうに詰寄つて
來られた時に歌治は、ちり
／＼と皮膚が栗立つやうな
一種の不快感を手に近の
雰圍氣に感じた。

自分の話をどう受取つて
呉れるかと川島は一呼ごと
に女の顔を注意してのぞく
やうに薄氣味悪く見てゐ
た。

『有難うよ。川島さん。』
『さう言つて徐かに首をあ
げた歌治の目には燃えるや
うな感激に白熱してゐるか
と想はるゝほどの輝きがあ
つた。

『もも、それは然うだらう。
世間によく有ることだ。三
年も馴染んでゐて或る時は
一つ夜着に雑魚寝までしな
がら、それで色でも戀で、
もなかつたなんてえ話は度
々聴かされるよ。』
川島は急に調子づいて、
もうすつかり凱旋した兵隊
さんのやうに、浮々とした
がら心中大喜びであつた。



『でもあの人は、捨てら
れたといふのか此方から打
棄つたと云ふのか今ぢやあ
全然關係がないといつても
よいくらゐの遠々しい仲に
なつてゐるんですからね。何
處に体を持つていかうと、
もう私は自由で後であの人

から苦情を持たされる理由
も、へちまもありやしな
いんです。私はもうすつか
りこれで安心したことよ。
併し川島さん聞いてちやう
だいよ。人間といふ者は此
處がほんとうに苦しい義理
よ。』
『何に、義理とは。』
『だつて苦しいぢやありま
せんか。世の中に義理もへ
ちまもなかつたら、そら人
間ぢやないわ。私にやこの
義理がねえ。』
『そんなに入釜敷しく言ふ
ことは無いぢやないか。義
理を守るは所にもよるか。
そんな義理は何にもならん
よ。』
『そをば往きませんよ。私
にや苦しいことよ。』
『そんなら歌ちやんの義理
とは何人の義理だね。』

無料検眼
各眼科院御用
大和田醫院

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南一七〇

貸切は●●●
セダン揃ひで!
貸切専門の!
昭和タクシーへ
電話三四三三

西線無雙 第一部
——名餘千八場登他氏ズーヤエ、スイヨリ、氏イムハルオウ、ズイル、氏イレンヨジ——
あに秋の此? かるあてつとを度熊るな何如に件事〇〇は國某今!! て見を畫映の此!! 民國我よめ暉
の佛獨部西戰大洲歐ばれ願!! いまるなばねは思を時の〇〇きべる來と念信るた國確は民國我りた
。だのたつあがり語物きなり極壯勇斯如はに戰激

奥・白痴の第殺
——件事|人殺族血の工女範模る知に導報の聞新——
有罪? 無罪?
館 平 : 錢〇二金料 : り限間日四りよ日十

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡 回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)